

【セミナーの実施計画】

整理番号	S-19-1			
セミナー名	(和文) 日本学術振興会第二回アジア・アフリカ創薬基盤形成セミナー			
	(英文) JSPS 2 nd Medicinal Chemistry Seminar of AA Science Platform Program			
開催時期	平成 19 年 10 月 25 日 ~ 平成 19 年 10 月 27 日 (3 日間)			
開催地 (国 (地域) 名、都市名、会場名)	(和文) プーケット島 (タイ王国)			
	(英文) Phuket (Thailand)			
日本側開催責任者 氏名・所属・職	(和文) 齋藤直樹・明治薬科大学大学院薬学研究科・教授			
	(英文) Naoki Saito, Graduate School of Meiji Pharmaceutical University, Professor			
相手国側開催責任者 氏名・所属・職 (※日本以外で開催の場合は必須)	Khanit Suwanborirux, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chulalongkorn University, Associate Professor			
参加者数	①本事業の経費により参加する人数・人日数 (その内、共同研究経費・研究者交流経費により支給するものについてはカッコ内にも記入のこと)		計	
	日本側参加者	5/20 (5/20) 人/人日	7/28 (7/28) 人/人日	
	(インドネシア) 国(地域)側参加者	1/4 (1/4) 人/人日		
	(インド) 国(地域)側参加者	1/4 (1/4) 人/人日		
	(タイ) 国(地域)側参加者	0/0 (0/0) 人/人日		
	②本事業の経費の支給を受けずに参加する人数		計	
	日本側参加者	6 人	50 人	
	(インドネシア) 国(地域)側参加者	2 人		
	(インド) 国(地域)側参加者	2 人		
	(タイ) 国(地域)側参加者	40 人		
	①と②の合計人数		57 人	

開催の目的・意義	<p>ジョイント開催（将来活躍が期待される若手研究者育成セミナー）</p> <p>本事業に掲げた4つの研究テーマについてこれまでに得られた研究成果を日本側事業メンバーの代表から報告する。また、相手国側からいくつかの注目すべき研究成果を選んでワークショップ方式で報告しいただく。それぞれの研究成果を評価し、問題点の抽出と今後の研究の方向について討議する。それぞれの国から本事業に関連した研究に関する優れた研究を行った若手研究者を選出し、口頭発表あるいはポスター発表を行ってもらい、それぞれについて参加者全員で徹底的に討議する。今回のセミナーでは後者に重点をおいたプログラムを企画する。</p>	
期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本事業に関連する研究成果の公表と、さらなる事業展開に必要な情報収集する。 2. 次世代を担う優秀な若手研究者の発掘と本事業の支援による育成 3. ワorkshop方式による徹底的な討議により個々の研究を適切に評価しながら、問題点の抽出と解決策の提示が可能になる。 4. レクチャーシップやポスター優秀賞などの設定により研究内容や発表技術を研鑽させ、若手研究者の高揚をはかることによりグローバルな視野を持った優れた若手創薬研究者を育成できる。 5. それぞれの研究環境や社会的情勢を相互に理解しながら、我が国の近隣諸国における研究環境と人材が欧米諸国に匹敵するレベルまで押し上げることができる。 6. 地域性を生かしつつ、独自の創薬研究を展開できる。 	
セミナーの運営組織	<p>企画準備委員会：明治薬科大学 AA 研究センターとチュラロンコーン大学薬学部生物活性海洋天然物部門の合同企画</p> <p>大会組織委員会：(オーガナイザー) 齋藤直樹、カニ・スワンボリラック、(セクレタリー) 杉田隆、スラタナ・アムニュオイポール</p> <p>協賛：JSPS、NRCA</p> <p>広報・運営責任者：大石一彦、ポンペーン・プラミオチン</p>	
開催経費 分担内容 と概算額	日本側	内容 金額 840,000 円
		約 4/5 負担、内容の詳細は未定
	相手国(地域) (タイ)	内容 金額 200,000 円
		約 1/5 負担、内容の詳細は未定